

2024年11月1日(金)

トーキョーコンサート・ラボ

日本とフィンランド  
作曲家による対話

第1部	シンポジウム	開場	15時30分	開演	16時
第2部	演奏会	開場	18時30分	開演	19時
					(終了予定17時45分)

## シンポジウム \*日英通訳あり

司会 ラッセ・レフトネン Lasse Lehtonen

登壇者 ロッタ・ヴェンナコスキ 新田ユリ セバスティアン・ファーゲルルンド

細川俊夫 アリ・ロンパネン

Lotta Wennäkoski Yuri Nitta Sebastian Fagerlund

Toshio Hosokawa Ari Romppanen

## 演奏会

## 演奏曲目

オウティ・タルキアイネン (1985-)

サン・パロール クラリネットのための (2012)

Outi Tarkiainen | Sans paroles for clarinet

細川俊夫 (1955-) 垂直の歌I フルートのための (1995)

Toshio Hosokawa | Vertical Song I for flute

ハッリ・ヴオリ (1957-) 山羊座の季節 ピアノのための (2021)

Harri Vuori | Capricorn Season for piano

マグヌス・リンドベルイ (1958-)

カプリス ヴァイオリンのための (2020)

Magnus Lindberg | Caprice for violin

ロッタ・ヴェンナコスキ (1970-)

フォリッジ チェロとピアノのための (2017) (デュオ版世界初演)

Lotta Wennäkoski

Foliage for cello and piano, world premiere of duo version

アリ・ロンパネン (1974-)

インテルメッツィ ピアノのための (2024) (世界初演)

Ari Romppanen | Intermezzi for piano, world premiere

野平一郎 (1953-)

時の三重奏曲 クラリネット、ヴァイオリン、ピアノのための (1996)

Ichiro Nodaira | Trio du temps for clarinet, violin and piano

望月京 (1969-)

インテルメッツィI フルートとピアノのための (1998)

Misato Mochizuki | Intermezzi I for flute and piano

セバスティアン・ファーゲルルンド (1972-)

燃料 クラリネット、チェロ、ピアノのための (2010)

Sebastian Fagerlund | Fuel for clarinet, cello and piano

## 出演者

フルート 齋藤志野 Shino Saito

クラリネット 鄭圭祥 (ジョン・キュサン) Kyusang Jeong

ヴァイオリン 佐藤まどか Madoka Sato

チェロ 下島万乃 Mano Shimojima

ピアノ 飯野明日香 Aska Iino 小川至 Itaru Ogawa 高橋絵里子 Eriko Takahashi

(順不同)

全席自由 一般 4,000円 | 学生 3,000円

予約 Peatix <https://finjamusic1101.peatix.com>※シンポジウムのみ参加の場合は  
無料です (要予約)

近年、フィンランドでは日本文化への関心が高まっており、また日本でもフィンランド文化への関心が高まっていることを嬉しく思います。

このことから、FinJa Music は両国の音楽交流を促進し、現在活躍する音楽家たちが両国の音楽を紹介する場となるよう、このシンポジウムと演奏会を企画いたしました。



**新田ユリ Yuri Nitta / 指揮者\***

1990年プザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト、1991年東京国際音楽コンクール(指揮)第二位受賞。愛知室内オーケストラ初代常任指揮者。文化庁芸術家在外研修生としてラハティ交響楽団にて研鑽を積み、以後日本とフィンランドを拠点とする。北欧各国のオーケストラに客演、フィンランド各地の音楽祭にて指揮、世界的ソリストとも共演。現在、桐朋学園大学指揮科特任講師、愛知県立芸術大学非常勤講師、相愛大学非常勤講師。日本シベリウス協会第3代会長、日本・フィンランド新音楽協会代表。



**細川俊夫 Toshio Hosokawa / 作曲家\***

広島生まれ。ベルリン芸術大学で伊伊桑に、フライブルク音楽大学でクラウス・フーパーに作曲を師事。ヨーロッパと日本を中心に、作曲活動を展開。日本を代表する作曲家として、欧米の主要なオーケストラ、音楽祭、オペラ劇場等から多くの委嘱を受け、国際的に高い評価を得ている。紫綬褒章、ゲーテ・メダルなど受賞・受賞多数。現在、武生国際音楽祭音楽監督、東京音楽大学およびエリザベト音楽大学客員教授。主要作品に「海、静かな海」(2016)、「渦」(2019)など。



**マグヌス・リンドベルイ Magnus Lindberg / 作曲家**

シベリウス音楽院にて作曲をエイノユハニ・ラウタヴァーラとパーヴォ・ヘイニネンに、のちにパリにてヴィンコ・グロポカールとジェラルド・グリゼーに師事。1980年代、現代音楽の振興と宣伝を目的としたグループ「コルヴァト・アウキ!(耳を開け)」のメンバーとして活躍。近年の作風は新古典的モダニズムとして定義され、特にオーケストラ作品や室内楽で高い評価を受けている。現在フィンランドで最も国際的に知られた作曲家の一人であり、世界の著名な指揮者や演奏団体によって演奏されている。



**アリ・ロンパネン Ari Romppanen / 作曲家\***

室内楽や独奏楽器のための作品を多く手掛け、宇宙空間や演奏技巧、日本文化など様々な源からのインスピレーションを独自の音楽言語として紡ぎ出す。2007年第9回国際エスポーピアノフェスティバル作曲コンクール、2021年タンペレピアノコンクール作曲コンクール入賞。プエノス・アイレスの即興グループや、ピアニストの高橋絵里子とも協働作業を行い、他分野芸術とのコラボレーションにも携わる。フィンランド日本協会の音楽部門「FinJa Music」コーディネーター。



**望月京 Misato Mochizuki / 作曲家**

東京藝術大学大学院修了後、パリ国立高等音楽院、IRCAMにて学ぶ。2003年芸術選奨文部科学大臣新人賞、2008年ユネスコ国際作曲家会議グランプリ、2010年ハイデルベルク女性芸術家賞など受賞多数。さまざまな領域への関心からもたらされる着想や、繊細さとダイナミズム、多彩な音色とバランス感覚に優れたユニークな作風が注目を集め、世界各地の主要音楽祭等で作品が初演、再演される。現在、明治学院大学文学部芸術学科教授、東京藝術大学音楽学部作曲科客員教授。



**ラッセ・レヘトネン Lasse Lehtonen / 音楽学者\***

フィンランド・ヘルシンキ大学の、日本音楽の研究を専門とする音楽学・日本学研究員(博士)。ウェブマガジン「FMQ」(フィンランド音楽季刊誌)およびフィンランド作曲家協会会誌「コンボシディオ」編集長。また、フィンランド若手アカデミー会長、フィンランド音楽学会副会長、フィンランド・日本協会役員、日本・フィンランド新音楽協会企画アドバイザーを務める。コンサートプロデューサーとしても活動。現在、フィンランド学士院の研究員として、日本とフィンランドの音楽交流について研究を行う。



**オウティ・タルキアイネン Outi Tarkiainen / 作曲家**

フィンランドのロヴァニエミ出身。シベリウス音楽院、ギルドホール・スクール、マイアミ大学で作曲を学ぶ。ラップランドのサイレンス・フェスティバルの共同芸術監督を4年間務め、ピエール・ド・モナコ公財団の作曲賞に2度ノミネートされる。2023年、フィンランドの音楽出版者賞を受賞。BBC交響楽団など世界の主要オーケストラによって演奏されている。人間の声の表現力と、最北の地域への憧れに基づいた作品を多く作曲している。



**ハハリ・ヴオリ Harri Vuori / 作曲家**

シベリウス音楽院にてパーヴォ・ヘイニネン、エーロ・ハメーンニエミ、エイノユハニ・ラウタヴァーラに師事。ヒュヴィンカー管弦楽団の専属作曲家であり、またヘルシンキ大学音楽学部で教鞭を執る。彼のオーケストラ作品は豊かな音色、鮮やかな色彩、そしてスペクトルハーモニーを特徴とする。代表作に「交響曲第1番」(2003、フィンランド放送交響楽団委嘱作品)やギター協奏曲「クトゥルフの夢」(2016、ラップランド市管弦楽団委嘱作品)がある。



**ロッタ・ヴェンナコスキ Lotta Wennäkoski / 作曲家\***

ヘルシンキを拠点とする。オーケストラ作品、室内楽、声楽作品を中心とし、世界中で頻りに演奏されている。2017年、BBCよりオーケストラ作品『フラウンス』の委嘱を受けプロムスにて初演、現在に至るまで約50回上演されている。2020年、フィンランド国家音楽賞を受賞。アーツ・プロモーションセンターから、2022-2026年芸術家教授の称号を授与される。フィンランド放送交響楽団によるCD「シグラ」(2022、Ondine)は2023年グラモフォン賞現代音楽部門を受賞。



**野平一郎 Ichiro Nodaira / 作曲家**

東京藝術大学大学院修了後、パリ国立高等音楽院に学ぶ。作曲家、ピアニスト、指揮者、教育者として国際的に活躍する音楽家。第13回中島健蔵音楽賞、第44回、第61回尾高賞、第35回サントリー音楽賞、第55回芸術選奨文部科学大臣賞、第52回ENEOS音楽賞洋楽部門賞、日本芸術院賞等を受賞。紫綬褒章受章。現在、静岡音楽館AOI芸術監督、東京文化会館音楽監督、東京藝術大学名誉教授、東京音楽大学学長。



**セバステアーン・ファーゲルルンド Sebastian Fagerlund / 作曲家\***

ヘルシンキのシベリウス音楽院にて作曲をエルッキ・ヨキネンに師事、2004年に学位を取得。彼の作品は大規模な形式への関心や、根本的な疑問、実的な経験を表現しており、オペラやオーケストラをはじめ室内楽やソロまで幅広いジャンルに及ぶ。世界の主要なオーケストラ、一流の指揮者や音楽家から委嘱を受け、ヨーロッパで著名な作曲家としての地位を確立する。またアスペン音楽祭やクプロ音楽祭など、多くの音楽祭に招聘されている。

\*印=シンポジウム登壇者 / 順不同



ヴァイオリン 佐藤まどか



ピアノ 飯野明日香



チェロ 下島万乃



ピアノ 高橋絵里子



クラリネット 鄭圭祥



ピアノ 小川至



フルート 齋藤志野

**ACCESS**

電車▶  
東京メトロ東西線「早稲田駅」下車 徒歩6分  
(出口2・3bより穴八幡神社方面へ)  
東京メトロ副都心線「西早稲田駅」下車 徒歩10分(出口2)  
JR山手線・西武新宿線「高田馬場駅」下車 徒歩18分  
バス▶  
JR山手線・西武新宿線「高田馬場駅」早稲田より都バス「早大正門」行「西早稲田(学02)」下車 徒歩2分  
「九段下」「上野公園」行「西早稲田」下車 徒歩4分



\*やむを得ず出演者、曲目などに変更がある場合がございます。

お問合せ 東京コンサーツ  
東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
03・3200・9755 (平日 10:00 ~ 18:00)  
<https://www.tokyo-concerts.co.jp/>

